

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

平成21年6月16日安全対策調査会
資料8-1-1

平成21年6月3日タミフル臨床WG
資料6-1-1

No.	患児氏名	性別	年齢	一日用量	使用薬	副作用	経過	経過説明	経過説明	経過説明
1	B-08026725	女性	4歳	20 mg		錯乱状態	回復	ザナミビル水和物服用2日前より、発熱等の症状あり。服用1日目、体温38.5℃と再び体温上昇したため、受診。キットにてインフルエンザと診断され、本剤処方。夕方、本剤吸入。服用2日目、夕、本剤3回目吸入後、床に就く。吸入約30分後、大声で叫び、制止したら大暴れ、走り出す等の行動が発現。廊下へ出る素振りをしたため、母親が取り押さえた。事象発現約30分後、少し落ち着き、ぐったりした様子で眠りについた。その後は異常行動認めず。服用3日目、起床してきたが、本人は覚えてない様子。		08/04/01以降新規報告
2	B-07022066	男性	6歳	10 mg	ツロブテロール	異常行動	回復	体温39.8℃あり、受診。ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤1回目吸入。服用2日目、朝、本剤2回目吸入。夕方、体温34.6℃。本剤3回目吸入。夜間に鏡の前でポーズと立ちすくみ、大声で家中走り回り、家族の制止するのがやっとだった。明け方まで続いた。服用3日目、発熱も治まったため、本剤中止。	異常-1	08/04/01以降追加報告
3	B-07022220	男性	6歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	夜診受診。ザナミビル水和物使用。同日夜、「あんた誰やったかな。」目の焦点合わないよう。白目をむいているよう。服薬開始2日目朝、「外で呼ばれているから」と裸足で玄関から飛び出した。同日症状回復。	異常-2	
4	B-07023277	男性	6歳	投与量不明		異常行動	回復	前シーズンにインフルエンザを発症したとき、リン酸オセルタミビルを処方したが、特に何のエピソードもなし。今シーズン、ザナミビル水和物処方。吸入後、いつ頃かは覚えていないが、まだ高熱の時に起きてきて、玄関から出て行こうとしたため、驚いて止めた。そしてそのまま布団に入ると寝た。	異常-3	
5	B-07023716	女性	6歳	20 mg	ヒベンズ酸チベジン塩酸シプロヘンタジンカルボシステイン耐性乳酸菌製剤(3)	異常行動	回復	受診。同日、服用開始。ザナミビル水和物1回目吸入後、約3時間睡眠。覚醒直後、ふるえ、独語、何かを探して徘徊する仕草が発現。夕、本剤2回目吸入。夜、約2時間睡眠した後、同様の異常行動が発現。症状は1時間で回復。服用2日目、朝、体温38.8℃。本剤3回目吸入後、約2時間睡眠。覚醒直後、同様の異常行動が発現。症状は1時間で回復。夜、体温38.8℃。服用3日目、朝、体温39℃。本剤吸入せず、受診。異常行動なし。	異常以外-3	08/04/01以降追加報告
6	B-08027850	男性	6歳	投与量不明	塩酸セフカペンピボキシルヒベンズ酸チベジン耐性乳酸菌製剤(3)	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、本剤吸入2時間後、言葉がでない、しゃべれない、トイレに行こうとするが、違うところに行く、言葉の意味がわからない、話しかけに応じないといった行動が発現。服用2日目、吸入2時間後に同じ症状が発現。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	記録番号	性別	年齢	用量	処方薬	副作用	経過	経過	経過	経過
7	B-08030419	女性	6歳	20 mg	ドンペリドン ヒベンズ酸チベジン カルボシステイン	激越 異常行動	不明 不明	ザナミビル水和物服用1日目、夜、突然笑い出す、2階から飛び降りようとする行動が発現。翌朝、患者より連絡あり、本剤中止を指示。		08/04/01以降 新規報告
8	B-08030548	男性	6歳	投与量不明	臭化水素酸デキストロメト ルファン 塩酸アンブロキソール アセトアミノフェン	異常行動	回復	検査により、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入後、急にリビングまで起き上がった。来て、問いかけにも無反応。目の焦点も合っていない感じがかった。		08/04/01以降 新規報告
9	B-08031179	男性	6歳	10 mg	UNKNOWNDRUG アズレンスルホン酸ナトリ ウム ポビドンヨード	異常行動	回復	39.1℃の発熱あり、受診。インフルエンザB型の診断され、ザナミビル水和物処方。診断30分後、体温40℃となり、本剤吸入。吸入約1時間後、ムクツと起き出して走り出し、玄関でわけのわからない話をしだす(10分くらい)異常行動が発現。落ち着いてから本人に訊くも、全く覚えていない。それ以後、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
10	B-08031641	男性	6歳	20 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物初回吸入2時間後、意味不明の言動(声をかけると耳を塞ぐ、手で空中のものを捕まえようとする、急に立ち上がって歩く)が発現。事象発現から5～6時間経過後、本剤吸入。吸入1時間後、意味不明の言動が発現。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
11	B-07022682	女性	7歳	20 mg	ヒベンズ酸チベジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン アモキシシリン メクロプラミド アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザA型と診され、ザナミビル水和物を処方。昼頃、本剤1回目吸入し、吸ってすぐ寝息を立てていた。約1時間後、睡眠時に、にらむようにヤダーと大声を出し「お母さんやめて、バカ」と繰り返し、何も無いところを見て手を突き出し、寝転んだ状態でまわりの戸やストープを蹴っていた。5-6分くらい泣きわめいてまた就寝した。夜、本剤2回目吸入し、就寝した。夜、睡眠時に全く同様の行動をした。	異常-4	
12	B-07027815	男性	7歳	10 mg	アセトアミノフェン ドンペリドン 酪酸菌配合剤	異常行動 激越	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目前日、急性胃腸炎にて38℃の発熱、頭痛あり。服用1日目、昼頃、38℃と発熱が続き、本剤1回目吸入後、就寝。吸入3時間後、部屋を歩き回り玄関から飛び出る。階段をかけ上がった。鍵を開けて外にしまったりして、力づくで連れ戻された。体温37℃台であった。夜、本剤中止。		08/04/01以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	経過の経過	備考
13	B-08026733	男性	7歳	20 mg	臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸アンブロキシール メキタジン	幻覚 浮動性めまい	不明 不明	ザナミビル水和物服用1日目、睡眠から起きた後、隣に父親はいないのに、父親がいると言い、トイレに向かい、フラフラしていた。服用2日目、特に問題なく、熱も平熱。吸入は継続。さらに異常があれば、医師に連絡するという事で、経過観察。		08/04/01以降 新規報告
14	B-08028509	女性	7歳	10 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	咳、鼻汁あり。翌々日、受診。体温38度。インフルエンザ抗原陰性のため、鎮咳配合剤等処方。同日午後、体温39度。再診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、睡眠時に意味不明な事を言ったり、泣いたり、わめいたりした。ろうかを走ったり、壁をたたいたりした。体温38.8度。本剤中止。事象発現翌日、再診したが、意識清明。神経学的な所見なし。		08/04/01以降 新規報告
15	B-08030946	男性	7歳	投与量不明		異常行動	不明	入院中の患者。 ザナミビル水和物服用3～4日目頃、口数減少、急に飛び出す様な動作といった症状が発現。		08/04/01以降 新規報告
16	B-07022258	男性	8歳	20 mg		異常行動	軽快	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入後就寝。睡眠時、寝言を発したり、急に起き上がり動き回るなどの異常行動あり。 服薬2日目、昼夕、ザナミビル水和物吸入。異常行動ではないが、夜中うわごとが強かった。 服薬開始3日目の夜からザナミビル水和物中止。	異常-6	
17	B-07022681	男性	8歳	10 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてA型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物1回目吸入し就寝。昼過ぎ、本剤吸入し、再度就寝。就寝1時間程後に、突然、ケタケタ笑いながら部屋を走り回る。10分程で落ち着く。その後は異常行動発現のため本剤中止した。熱は続いたが異常行動は見られず。	異常-7	
18	B-08025159	女性	8歳	20 mg	テオフィリン アジスロマイシン水和物 麻黄附子細辛湯	異常行動	不明	インフルエンザで来院。ザナミビル水和物処方。 服用3日目、41℃の発熱あり、暴れて、家を飛び出すといった異常行動が発現。本剤は中止せず、併用薬でアジスロマイシン水和物と麻黄附子細辛湯を処方。		08/04/01以降 新規報告
19	B-08026723	女性	8歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚 記憶障害 異常行動	回復 回復 回復	38.5度の発熱のため、受診。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、壁をガリガリしたり、歩き回る。黒いものが出てきて踏まれるなど、なんらかの幻覚を見て話す。本人は全く覚えていない。 翌日、解熱していた。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

例	症例番号	性別	年齢	投与量	薬剤名	異常行動	経過	経過	経過	経過
20	B-08028229	女性	8歳	投与量不明	アシクロビル	異常行動 意識レベルの低下 意識消失	不明 不明 不明	インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。 服用2日目、深夜、トイレに行くと呼んで、急に起き上がってトイレの前で倒れた。意識がもうろうとしていた。		08/04/01以降 新規報告
21	B-08028726	男性	8歳	投与量不明		異常行動	回復	夜、子供部屋で寝ていたのに、親が様子を見に行ったら子供部屋におらず、別の部屋で寝ていた。		08/04/01以降 新規報告
22	B-08029026	女性	8歳	10 mg	エチルコハク酸エリスロマイシン ヒベンズ酸チベジジン 塩酸アンブロキソール 塩酸ツロブテロール ピコスルファートナトリウム アセトアミノフェン	異常行動	軽快	詳細不明		08/04/01以降 新規報告
23	B-08030551	男性	8歳	20 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断あり、ザナミビル水和物服用開始。 服用3日目、夜、本剤吸入後、睡眠時に奇声をあげ、走り出す異常行動が発現。その後も本剤吸入継続したが問題なし。 服用5日目、インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
24	B-08031177	男性	8歳	10 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン カルボシステイン ジプロフィリン・ジヒドロコデイン配合剤	異常行動	回復	39.1℃の発熱あり、受診。検査にてインフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤吸入約2時間後、睡眠していたところ、急に起き出し隣の部屋に行き、部屋が狭いと言った。母親が子供を落ち着かせると、こわい思いをしたと話し、その間のことは覚えていないと話す。医師に連絡し本剤中止の指示。 本剤中止後、異常行動の発現なし。		08/04/01以降 新規報告
25	B-08031181	男性	8歳	20 mg		異常行動	未回復	ザナミビル水和物服用2日前より、発熱あり。 服用3日目、大声を出したり、パンチやキックをしたり、飛び降りそうになったため、入院。		08/04/01以降 新規報告
26	B-08031182	女性	8歳	20 mg	鎮咳剤	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夕、本剤初回吸入。深夜(吸入約6時間半後)、急に起き上がり、家の中を徘徊する行動が発現。別の部屋に行き、意味不明の言葉を発した。体温38.2℃。 服用2日目、起床時には特に問題なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	経過の経過	経過の経過
27	B-08031336	男性	8歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用2日目、お化けがでる、檻がある等と言いながら、起き上がり、ふらつきながら玄関の戸を開けて出て行こうとした。		08/04/01以降 新規報告
28	B-08031466	男性	8歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ラクトミン	異常行動	回復	ザナミビル服用1日目、午前中、体温37.8℃。咳、腹痛あり。本剤初回吸入。夜、本剤吸入約2時間後、睡眠時、異常に興奮。30～60分おきに大声を出す。約10時間、症状継続。 服用2日目、朝、本剤吸入。昼過ぎ、動きまわる、幻聴、自分はしゃべりたくないのに勝手にしゃべると言いながら話す。夜、本剤吸入3時間後、睡眠時、異常に興奮。急に起きて、ワーと声を出し大騒ぎし、親にも足で蹴るなどの乱暴な行動が発現。体温38℃。 服用3日目、午前中、体温36℃台。医師の指示により、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
29	B-08032140	男性	8歳	10 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用3日目、リュックを持ちベランダへ向かい歩いていくところ、家族に制止。その後も落ち着きがない様子。熱は下がっていた。本剤中止。 服用開始から4日目、症状消失。		08/04/01以降 新規報告
30	B-08032141	女性	8歳	20 mg	フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	異常行動 落ち着きのなさ 激越	不明 回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日服用開始。吸入2～3時間後、興奮して「行かせて、行かせて」と、家人を振り払って外に出て行こうとする。笑ってお母さんにつかみかかってくるといった症状が発現。夜、本剤吸入2～3時間後、同様の症状が発現。		08/04/01以降 新規報告
31	B-06026559	女性	9歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、ザナミビル水和物処方。本剤を吸入してから約11時間後、突然起きて、恐い、助けてと言いながら、家中を歩きまわった。母が止めても強い力でふり払った。深夜、眠っていたが、突然、体を起こし、同様な行動。すぐに意識清明となり、恐い夢を見たと言った。翌日夜も同様な行動。	異常-8	
32	B-07020144	男性	9歳	20 mg	セフトレキシム カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン 耐性乳酸菌製剤(3) アセトアミノフェン	異常行動	回復	朝、38.7度。ザナミビル水和物を吸入開始。 服薬2日日夜、父親が帰宅したのをきっかけに、突然洗面所、クローゼットに行き、物を探し始め、母親が尋ねたところ、鏡を探していたと言ったとのこと。そのとき38.9度の発熱あり、後で本人はそのことを覚えていない。その後も本剤吸入を続ける。	異常-9	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	用量	成分	副作用	経過	経過の概要	副作用の程度	経過
33	B-07020446	男性	9歳	20 mg	ブランルカスト水和物 プロピオン酸フルチカゾン	異常行動	回復	服薬1日目、朝、眠っていたが、突然起きて、怖いと訴える。立ち上がって部屋を歩く。目が開いていても、すわっているよう。ザナミビル水和物1日2回吸入を開始。朝、本剤吸入1時間半後、5時間半後、7時間半後に前述と同様の異常行動出現。夜吸入後にも同様の異常行動出現(見当意障害、幻視)。 服薬2日目朝夕、本剤吸入。睡眠時に同様の異常行動(見当意障害、幻視)。前日同様、何かにおびえるが本人記憶なし。 服薬3日目朝、本剤吸入。ほぼ問題なし。異常行動消失。	異常-10	
34	B-07023377	男性	9歳	20 mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペビジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。吸入約5時間後、体温38.6。急に立ち上がり意味不明のことを話。何かを探すように2-3分動き回った。その後入眠。 服薬2日目朝、体温36.0。本剤吸入、以後軽快。	異常-11	
35	B-07023491	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	服薬1日目、インフルエンザ診断。昼、ザナミビル水和物吸入。夜、熱でうなされ、母親が押さえつけるのに大変であった。このとき、起き上がり歩いたとの情報あり。ザナミビル水和物中止。 服薬中止翌日、朝、軽快。	異常-12	
36	B-07023708	女性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザテストでA(+)と判明し、診察室でザナミビル水和物を医師の指導下で吸入しその後就寝。就寝約2時間後、昼寝から醒めた。目がギラギラとしていていつもと違う感じだった。母親が「調子が良くなったのじゃないの?」と聞くと、「飛行機が…、お母さんが言ったのに」など、質問とはかけはなれた答えが返ってきて、つじつまの合わない内容だった。興奮してギャーギャーという。布団の上でうつぶせになり、上半身を布団に打ちつけていた。母親が落ち着いてと抱きしめたところ、次第に興奮が醒めて、泣いた。「言いたくなかったのに言っちゃった」という。このエピソード、その間3分位、以降通常通りとなる。同日夜、本剤吸入1時間後に就寝したが、約2時間半後、急にぱっと起きた。歩いてきてスポーツ飲料を飲んだが、興奮して手がふるえてボトルを持っていた。泣きながらギャーギャー言う。昼間ほどではなかった。この間3分くらい。その後通常に戻る。 2日目、投与中止。	異常-13	
37	B-07023714	男性	9歳	20 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン 塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	服薬1日目、ソ連型と診断し、ザナミビル水和物処方。夜吸入1時間後、異常行動発現。「俺は死ぬ」「頭がおかしくなる」などと叫び、玄関へ走り出した。体温40.2度。 服薬2日目、一眠りし、回復。その後異常行動再発なし。	異常-14	
38	B-07024758	男性	9歳	10 mg	クラリスロマイシン カルボシステイン ヒベンズ酸チペビジン 塩酸オロパタジン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてインフルエンザAと診断され、午前中にザナミビル水和物吸入。昼頃、睡眠をとった後、夕方覚醒した直後に、家の中をウロウロしてソワソワして落ち着かない様子。5分ほど症状継続した後、自然に回復した。副作用により本剤中止。	異常-15	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	服用量	服用薬	異常行動	回復	経過観察	備考	備考
39	B-07025289	女性	9歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 酒石酸アリメマジン 塩化リゾチーム	異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザ検査にてA型と判定する。朝、ザナミビル水和物初回吸入。夕方頃、ザナミビル水和物2回目吸入。約3時間後、突然ふとんをもって走り出した。両親がびっくりしてだきかかえた。その後落ち着いてまた眠りについた。 服薬2日目、熱も少し下降し、調子もよくなってきた。	異常-16	
40	B-07025370	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温38.5℃。全身倦怠強く、咽頭痛あり。本剤1回目吸入。夜、体温36.0℃。全身倦怠も軽快。本剤2回目吸入3時間後、就寝したが、就寝1時間後に突然覚醒し、走り回った。呼びかけにも反応しなかった。このような症状がみられたため、以後、本剤中止。	異常-17	08/04/01以降追加報告
41	B-08002428	女性	9歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸ジフェンヒドラミン クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夕方、体温39.4℃。本剤1回目吸入後、就寝したが、夜半、寝室から台所まで歩き、くるくる回り兄の名前を呼んでいた。 服用2日目、解熱。本剤は継続服用していたが、その後は異常行動なし。		08/04/01以降新規報告
42	B-08003504	女性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン モンテルカストナトリウム カルボシステイン ツロブテロール ラクタミン	異常行動	回復	服用1日目、睡眠中、突然起き上がり、大声を出しながら、ベッドの上で飛び跳ねたり、部屋をかけ回ったりした。数分間継続していたが、次第に落ち着いた。救急車にて受診時、興奮状態は落ち着いていた。		08/04/01以降新規報告
43	B-08028343	女性	9歳	10 mg	セフジトレンピボキシル カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	体温39度、咽頭痛、頭痛、咳あり、翌日、受診。他院39.4度、頭痛、嘔気あり、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤初回吸入後、約1時間入眠。体温39度。本剤初回吸入1時間後、「ママ、ママ」と言いながら玄関に走って行き、その後窓を乗り越えようとするなどの行動が発現。体温38.3度。		08/04/01以降新規報告
44	B-08028344	女性	9歳	20 mg		異常行動	回復	38℃の発熱あり、キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入約3時間後、2階で寝ていたが突然「外へ行く」と言って、1階に降りてきたところ洗濯していた母親に発見された。体温39℃。本剤吸入約9時間後(事象発現6時間後)、体温38.0℃。覚醒した時に自分の行動について覚えていない。ただ「悪い夢を見ていたような気がする」と言う。 服用2日目、体温37.5℃。医師の指示により、解熱後は異常行動が認められないことから、本剤継続。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	患者番号	性別	年齢	投与量	投与期間	副作用	経過	経過観察事項	回復状況	備考
45	B-08028345	男性	9歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。 服用2日目、昼、本剤吸入約2時間後、極端なおびえを訴える、何かにおびえ動き廻り、兄弟、姉妹の名を呼びあげ殺されてしまった、と言い泣いている、両親(父母)がピストルを持って殺しに来るなどと言うといった症状が約2分間発現。体温39度。本剤初回吸入約7時間後、同様の症状が約2分間発現。体温37.4-38度。		08/04/01以降 新規報告
46	B-08028717	男性	9歳	20 mg	プロピオン酸フルチカゾン アセトアミノフェン	異常行動 意識変容状態	回復 回復	38.2℃の発熱あり、受診。ザナミビル水和物等処方。同日服用開始。夜、本剤吸入約3時間後、就寝。吸入約3時間20分後(就寝20分後)、泣き起きてベッドから慌てて出てくる。抱きしめてなだめるが、手を振り払うようにし、居間のコタツの周りをグルグルと走り始める。歩きたくはないのにじっとしていられないといった表情に見える。走るのを止めるように促し、水分摂取などをすすめるが拒否。腹痛を訴え、約5時間にわたって、排便(下痢)あり。その後、就寝。服用2日目、朝、体温37.8℃。機嫌よく起床。昨夜のことを本人に話すと、歩き回った記憶はなし。夜、本剤吸入約3時間後、就寝。吸入約3時間半後(就寝30分後)、急に起きて、枕を何度も叩きつけた後、横になる。その10分後、起き出し、コタツの周りを走り始める。数回走ったところで急に、寝る、おやすみ、と言って自分で布団に戻る。前日と同じように何かに走らされているような表情。楽しく歩いているような感じではなく、走らされている(走らないといけない)といった様子に見える。 服用5日目、インフルエンザ治療し、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
47	B-08030542	女性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 頭痛 不眠症 異常行動	回復 回復 回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温37.2℃。夕、本剤吸入3時間後、就寝。吸入約5時間後(就寝約2時間後)、寝ていてがばっと起きてどこかへ行こうとする行動が何回も発現。何人もの人が言い争う声がうるさいと泣く。母のことがわからず、目はパチッと開いて言葉もはっきりと言った。制止するとおとなしくなる。幻聴は覚えていた。本剤中止。 服用開始から2日目、昼、体温38℃。寝ていて途中で起き、しばらくして泣き出して落とし穴がどうこうと話し出す。「あの人たちが邪魔」とも言っていた。 服用開始から3日目、体温38℃台。異常行動はなし。 服用開始から5日目、解熱。		08/04/01以降 新規報告
48	B-07001159	男性	10歳	20 mg		異常行動	軽快	ザナミビル水和物吸入1時間後にこわいと言って大声を出した。夜、再度吸入後、夜中に急に起き出して暴れた。翌日、本剤の投与中止。昼、家の中で急に走り出し、おもちゃの刀を振り回した。いずれも本人は全く記憶はなく、怖かったことだけ覚えている。	異常-18	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	用量	処方薬	異常行動	経過	経過・処置	経過・処置	経過・処置
49	B-07021955	女性	10歳	20 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ抗原(+)Aにて、ザナミビル水和物処方。 服薬1日目、1回目の吸入後、押入れに入りノックする。外に出て行くとした。 服薬2日目、朝・夕2回吸入したが、異常行動はみられなかった。	異常-19	
50	B-07022219	男性	10歳	20 mg	ドンペリドン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。 服薬1日目夜、就寝していたが、明け方頃、「何か起きたの? どうしたの?」とガバッと起き出し、階段のところまで走り出した。「何も起きていないよ。」となだめたがしばらく興奮状態が続いた。「どんな夢見たの?」と聞くと、「公園で遊んでいたら、こっち集まれ! って呼ばれたから何か起きたのかと思った。」と答えた。	異常-20	
51	B-07022580	男性	10歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、迅速診断キットにてインフルエンザと診断され、ザナミビル水和物等処方。 服薬2日目朝、本剤吸入。夕方、突然起きて「助けて」と叫んで部屋の中を走り回る。正常な時と異常な時が入り混じる。異常な時は3-4分。大声を出す。お母さんはわかるが「お母さんを殺しちゃった」と言う(体温37度台)。本剤を服用。就寝時「こわい」と訴えた。眠ってから突然起きて辺りを見回すことが2回程あった。	異常-21	
52	B-07023804	男性	10歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン ビフィズス菌製剤(4) 塩酸シプロヘプタジン ビスキンサン製剤 アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、キットでインフルエンザA陽性と診断。夜自宅でザナミビル水和物吸入後、就寝。寝ていて起きたり不穏な状態が30分位続いて、母親が不信に思った。本人は覚えていない。 服薬2日目、外来で診察。解熱し元気であり、インフルエンザの症状は軽快していた。前夜の異常行動の報告を受けたが、インフルエンザの治療の為、ザナミビル水和物吸入。昼過ぎ、睡眠していないが、トイレに何度も行くので、母親が「どうしたの?」と聞いても本人は何のことかわからないようであったとのこと。全身状態良好にて本剤中止。	異常-22	
53	B-07024312	男性	10歳	10 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてインフルエンザAと診断され、ザナミビル水和物吸入。 服薬2日目、朝 覚醒直後、部屋の中をうろろ、壁に向かっていった。意味の分からないことを言ったり、急に起き上がった。すぐに回復した。 その後、4日間ザナミビル水和物吸入継続。	異常-23	
54	B-07025366	不明	10歳	20 mg	アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	9~10歳の患者。ザナミビル水和物服用1~2日後、夜、こたつの中に何かいると言ったり、寝ている2階から寝具を持って来てウロウロしたりする。その後、異常なし。	異常-24	08/04/01以降追加報告